

# 駐在から始まった台湾生活

## 栃木弘樹さん(53歳)



台湾で生きていくには…  
 日本人的なことを生かしていくのが有利！



だから子どもは日本人学校から日本の高校へ行かせようと考えてます

渡辺 幸倫  
 漫画・前田ムサシ

昔からの憧れがふと蘇ったのです…



そして31歳の時

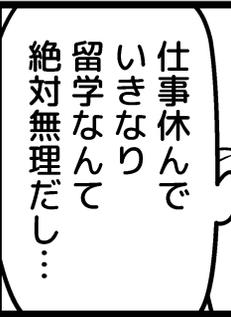
ここでパソコン関係の技能も学びました



就職も東京電機・機械系の会社の技術職

ボクの出身は福島県いわき市  
 高校卒業後に大学進学とともに上京

と心配していたのですが



いつでも海外で生活してみたい！



でも

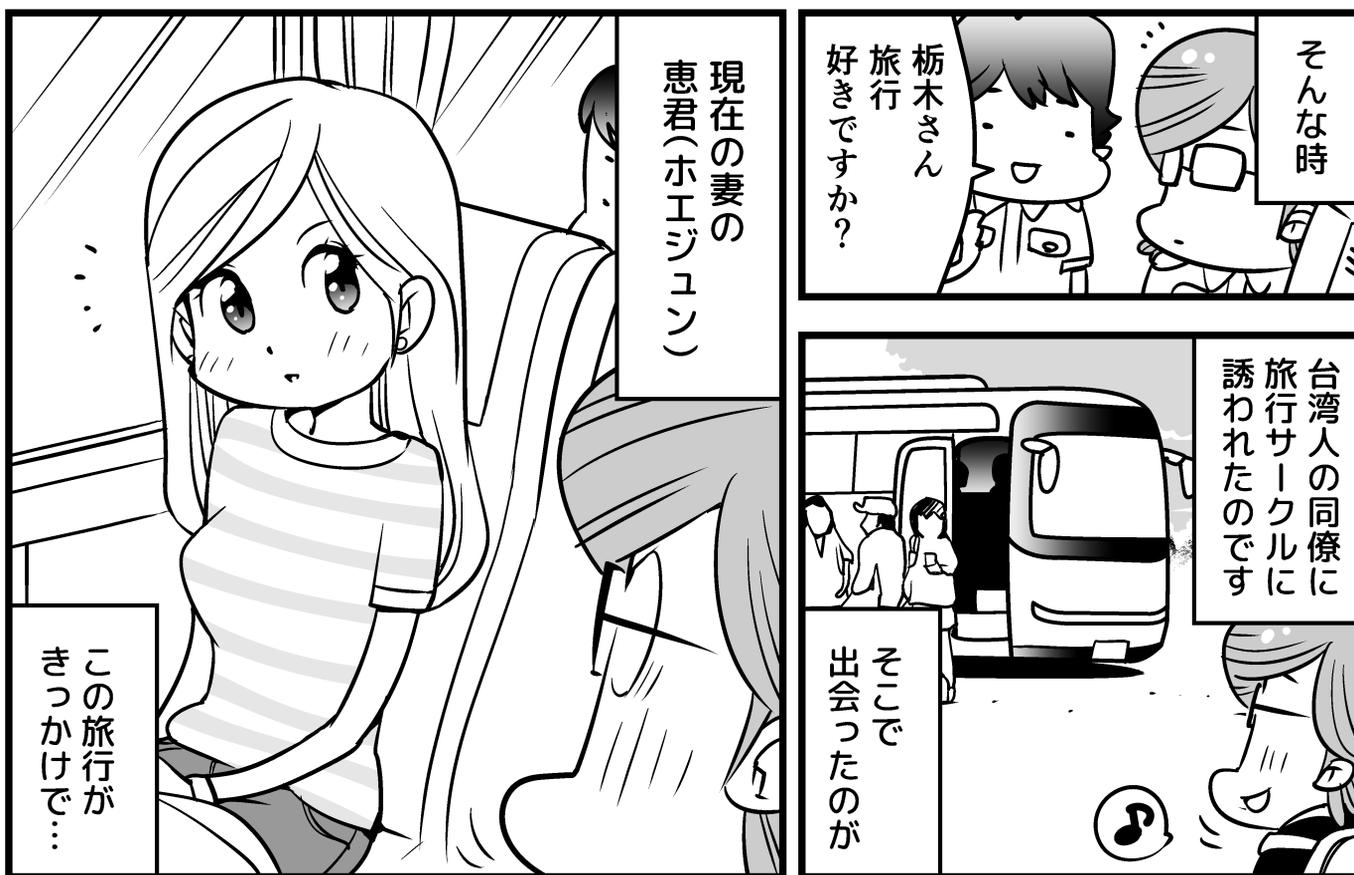
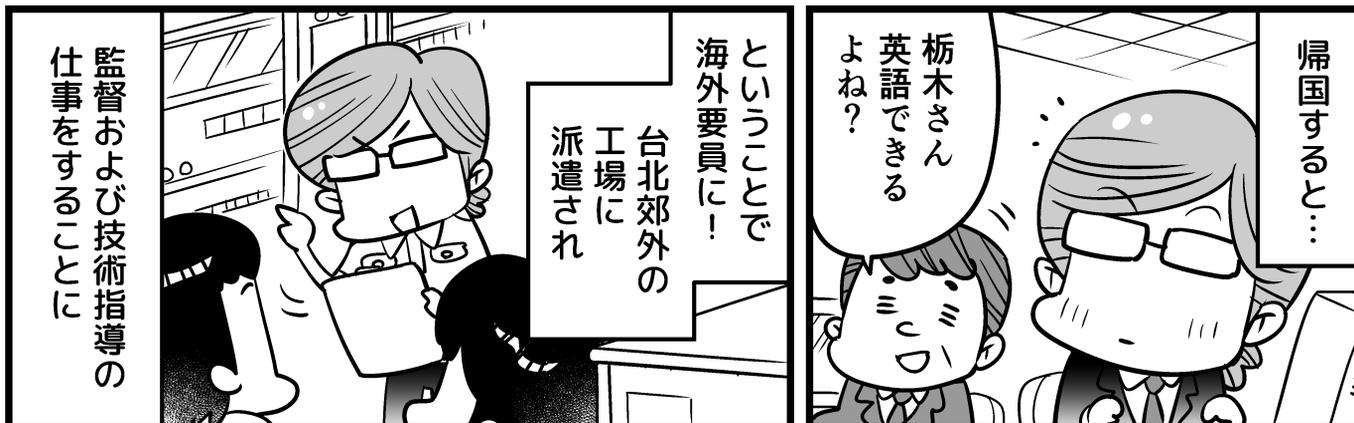


そこで半年間休職してカナダへ留学することに…

意外にもあっさりOK…



海外留学？  
 自費ならいいよー





なんと彼女の  
家族・親類が  
結婚に猛反対…

日本人は  
『大男人主義』  
だから  
気をつけろ！

ずっと  
台湾に  
いないかも…

どうせ  
すぐ日本に  
帰っちゃうん  
だろ！

とにかく  
慎重に…

ところが  
高雄に住む  
祖母のところに  
挨拶に行った  
ところ…

### 大男人主義とは？

台湾社会で日本人男性は「大男人主義」と呼ばれることが多い。「大男人主義」は一般に男性優位思想と理解されることが多いが、一部には男性が家族の庇護者としての役割を果たすべき、という「大黒柱」と重なる概念も含んでいるという。



よく  
いらっしやい  
ましたねえ

結婚  
おめでとう！

日本語!?

しかも流暢…

なんでも  
日本時代には  
日本語の先生を  
していたことも  
あり…



東京で  
暮らした  
ことも  
あるん  
ですよ

祖母の了解を  
得たおかげで

へえー!



ちなみに  
うちの両親は…

内気で  
理系オタクの  
弘樹が…

まさか  
結婚できる  
とは…!!

トホホホホホ  
…

大喜びでした

こうして  
ボクが34歳  
彼女が26歳の  
時に結婚

ほどなく  
台中に転勤と  
なり…



他の親族も  
あっさりOK

親日的な台湾とはいえ  
国際結婚はまだ珍しく  
厳しい時代だったの  
かも…



転勤先で生まれたのが  
息子の悟。  
中国語名は妻の親戚に  
つけてもらい  
妻の黄姓と合わせて  
黄品睿(ファンピンルイ)  
となりました

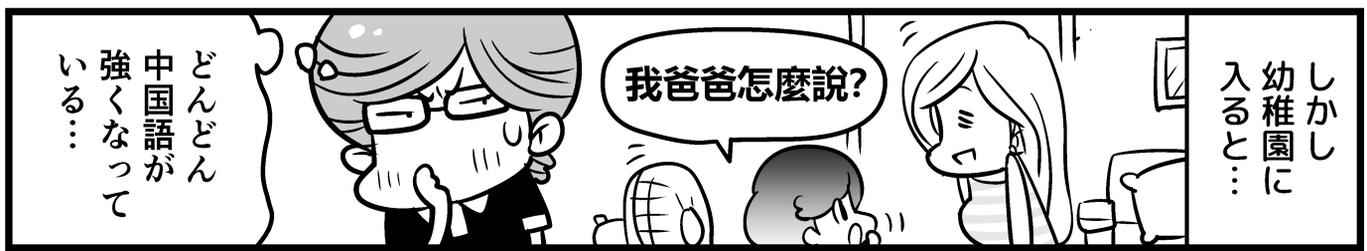
子どもは日本と台湾  
どっちで成人するか  
分からないし…

やっぱり  
両方話せるように  
しとかないとな…

**まずは日中バイリンガル！**  
言語教育は子どもが生まれた当初(あるいは生まれる前!)からの重要な関心事。どのような言葉を身に着けることになるかが子どもの人生に影響を与えると信じられている。家庭内での日本語と中国語の存在を前提に、まずは日中バイリンガルを目指すというのが一般的。



家では日本語だから  
幼稚園では  
中国語を勉強させて  
と…



しかし  
幼稚園に  
入ると…

我爸爸怎麼說?

どんどん  
中国語が  
強くなって  
いる…



そんなわけで  
周りもみんな  
行っている  
ということあり

小学校は  
現地校へ  
入れました



やっぱり  
日本語は  
ボクが教える  
しか…

でも仕事も  
忙しいので



そのころ  
本社から

帰任命令が  
届いたのです



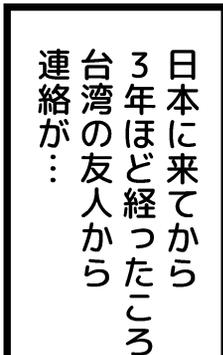
日本語の学習は  
もっぱら  
マンガや本や  
日本のアニメで

妻も家では  
日本語で  
がんばって  
くれて  
日本語も  
出来るように  
なってきた



やったー  
日本に  
行けるね！

最初は  
喜んでいた妻  
なのですが



日本に来てから  
3年ほど経ったころ  
台湾の友人から  
連絡が…



えっ!!  
起業する!?

栃木さんも  
一緒に参加  
しない?



いざ日本での  
生活が  
始まると…

台湾と  
雰囲気  
全然違うね…



……  
……  
……



結局なかなか  
馴染めず…

もう台湾  
帰りたい…



果たして台湾で  
やっていけるのか  
どうか迷いましたが…

台湾  
帰れる  
の!?

やっぱり  
台湾に  
戻ること  
に  
したので



その時  
息子は小学4年生  
日本の生活に慣れて  
いたため

えっ!?  
台湾の  
学校なんて  
やだよお

そこで現地の  
日本人学校へ  
入りました

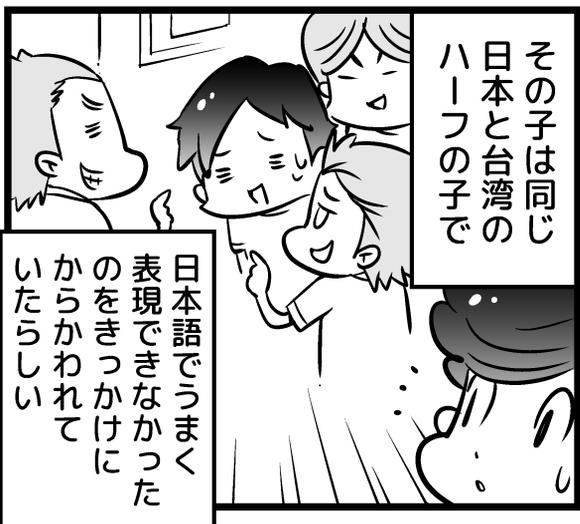


台湾での学校生活は  
順調にスタートした  
ようだったのである  
日のこと…

ねえ  
パパ



学校で  
いじめ  
られてる  
子がいる!



その子は同じ  
日本と台湾の  
ハーフの子で

日本語でうまく  
表現できなかった  
のをきっかけて  
からかわれて  
いたらしい

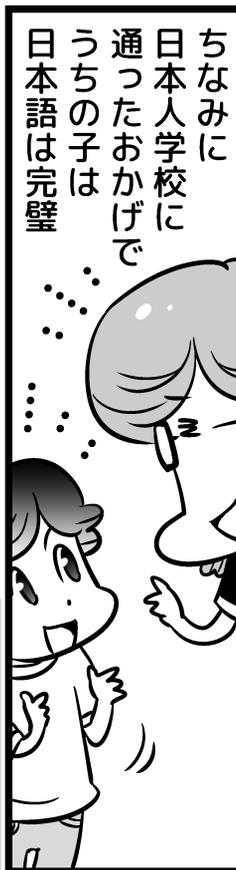


※個人の感想です

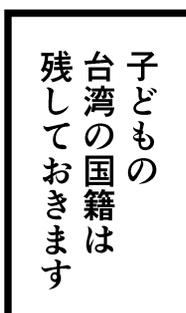
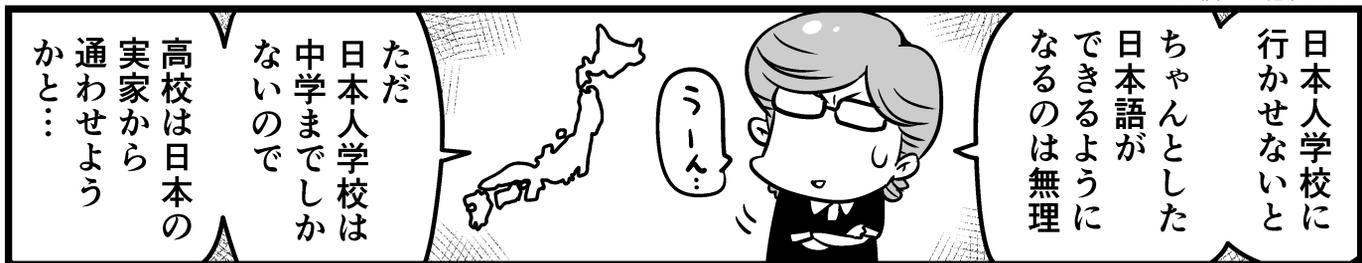


**言語習得は性別が決め手？**

これは性別が決め手になっているようにも聞こえるが、「母親の方が子どもと乳幼児期から接する時間が長くその間に日本語の基礎ができていく」というように特定言語で接する時間が重要という考えが元になっていると思われる。



※個人の経験です



**徴兵制は志願制へ…**

基本的に当面は重国籍保持し、成長した段階で選択するかどうかを含めて本人に決めてほしいという考えが一般的。また2018年に徴兵制が志願制へと移行した。実質4か月の軍事訓練の義務は残ったが、2回に分けて参加することも可能になっている。それまではこの負担を避けるために台湾籍を放棄することもあったというが、大学生活中の2回の夏休みに分けて行うことが一般的になりつつある。